

新政府石破下ろしに向かい風

寺畑 俊子

「久し振り」「お前誰だ」のクラス会

田中 たづ子

年重ね日に依り痛み異動する

坪郷 英美子

順調に老い行く我に秋の空

藤井 節子

ありがとうその一言に笑顔なる

磯部 佳子

しんせいふいしばおろしにおかいかぜ

てらはた としこ

「ひさしぶり」「おまえだれだ」のくらすかい

たなか たづこ

としかさねひによりいたみいどうする

つばごう えみこ

じゅんちようにおいゆくわれにあきのそら

ふじい せつこ

ありがとうそのひとことにえがおなる

いそべ よしこ

十人のいとこ集ひて栗ご飯

林 保江

休日の丸のこの音秋高し

林 美津江

穠田を鶏と小犬が鬼ごっこ

馬場 精作

爽涼や太鼓の音の澄み渡る

財間 由美子

爽やかやコーチ大声博多弁

金内 憲一

じゅうにんのいとこつどいてくりごはん

はやし やすえ

きゅうじつのまるのこのおとあきたかし

はやし みつえ

ひつじだをとりとこいぬがおにごっこ

ばば せいさく

そうりょうやたいこのおとのすみわたる

ざいま ゆみこ

さわやかやコーちおおごえはかたべん

かねうち けんいち

短歌

老いおれば助けられつつ暮らす日の
風車まわる春風つれて

原田 ヤスエ

やきいもはほくほくなんだおいしいな
二人で分けるともっとほくほく

福田 怜央

手に載せてキャベツを選んで一つ買う
本気で挑む野菜の市場

弘重 和恵

若い日は憎まれ口も叩いたけど
年々縮む母親とのきより

賤間 星

少しずつ季節が動く孟秋の
風に遊ぶや秋桜の花

末永 敦子

おいおればたすけられつつくらすひの
かざぐるままわるはるかぜつれて

はらだ やすえ

やきいもはほくほくなんだおいしいな
ふたりでわけるともっとほくほく

ふくだ れおう

てにのせてきゃべつをえらんでひとつかう
ほんきでいどむやさいのいちば

ひろしげ かずえ

わかいひはにくまれくちもきいたけど
ねんねんちちむはおやとのきより

ざいま せい

すこしずつきせつがうごくもうしゅうの
かぜにあそぶやこすものはな

すえなが あつこ

でこぼこ道やわらかい言葉にほっこり

西岡 悦子

コスモスの高さに立ってみる

佐川 智英実

ドカン 空の底が抜けた

岡村 裕司

青田に広がる水いきいきと育てる

田中 律子

細い肩耳のカットは飾りじゃないよVの字に

矢田 悦子

でこぼこみちやわらかいことばにほっこり

にしおか えつこ

こすもすのたかさにたってみる

さがわ ちえみ

どかん そらのそがぬけた

おかむら ひろし

あおたにひろがるみずいきいきとそだてる

たなか りつこ

ほそいかたみみのかっとはかざりじゃないよぶいのじに

やた えつこ